

●1.5ℓボトル…350円  
●20ℓボックス3,500円

環境庁公認水質検査  
会津磐梯山の自然水  
世清水

お求めは、ツチャ菜農園  
☎0120-484821

郡山市内毎週10万部発行!

**週刊郡山**

**ザウイクル**

発行所/週刊郡山社〒963-02郡山市柏山町3番地企画室・コア内☎(0249)61-7722 FAX(0249)52-6788(代表/広告・編集) 週刊・無料

話題沸騰  
**PHS**  
まったく新しいデシコ

申し込み  
承り中!

福島信販 ☎0249(32)6464



郡山の峠を行く  
中山峠

熱海町中山から  
猪苗代町田子沼へ

郡山から磐梯熱海を通って会津へ向う時、中山峠を必ず越えます。子どもだったころ、中山峠を越える時いつも抱いた疑問は、この峠の頂上はどこだろう、ということでした。ずうっとのぼって行って、いつまでもくだらない。実は猪苗代町そのものの標高が高くて525mの中山峠とさほど変わらないんだと気づいたのはずいぶんあとになってからです。汽車で行っても中山宿のところでスイッチバックをする。今は道路もよくなり、自動車ですはすいすい行けますが、今でも普通列車はスイッチバックをする。妙にうれしいですね。

歴史をひもとくとかつての中山峠は、いまより北西に2.5km程行った楊枝峠を指していたそうです。江戸時代は、二本松・会津両藩界で、楊枝峠を経由する会津・本宮街道を、二本松藩では会津街道、会津領内では二本松街道と呼んでいたそうです。楊枝峠は標高691m。今の中山峠より166mも高いのですから、相当の難所でした。

●峠は峠。今も。

現在の道になったのは明治18年越後街道の改修工事が行なわれた時でした。五百川の分水界近くにあった沼上峠に移り、中山峠と改称されたのです。

以来たびたび改修工事が行われとくに昭和58年からは熱海町安子島―猪苗代町田子沼間、総延長2,800m、うちトンネル500mを含む「中山道路」工事が始まり、完成は平成元年10月26日。7年もの歳月をかけた開通でした。この中山道路の完成で、峠越えはすっかりらくになりました。

しかし、この峠を境に、植生や気候が一変するのは同じで、いわゆる会津と中通りを区別する峠であるのは変わりません。冬は郡山が晴れていてもこの峠にさしかかるところは大吹雪でノロノロ運転、時としては交通止めにもなります。

峠であればそれも当然。一つの世界からもう一つの世界への境界なのです。から、いらいせよ、峠の今昔をしのんでみましよう。



▲峠の麓には、わが国の電気業史に残る東京電力沼上発電所がある。

最大のスケールを誇る  
教習コースと  
インストラクター陣。  
ライセンス取得は  
歴史と実績溢れる  
「西部」で。



便利です  
ご自宅と西部の往復は、スクールバスをご利用ください。市内循環をはじめ9方面。

安心です  
ちっちゃなお子様は、ひろびろ託児室で専任の保育がお相手。

お待ちしません  
教習時間の予約や配車は、カードを使ってワンタッチでOKの、コンピュータシステムが好評です。

クレジットでラクラク  
お支払いは、月々1万円くらいでOKです。

本物のドライバーを育てる  
**西部自動車学校**  
〒963 郡山市西ノ内2-11-35 ☎0249(32)1600代